

CMIC REPORT 2012

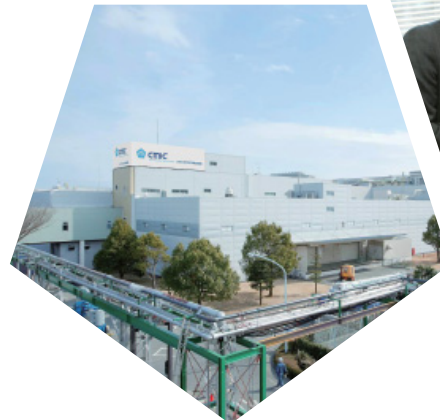
シミックレポート 2012

シミックホールディングス株式会社 第28期 中間ビジネスレポート
2011.10.1-2012.3.31

おかげさまでシミックグループは
創業20周年を迎えました

CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 02 シミックグループについて
- 03 20周年記念特集
- 05 トピックス
- 07 当第2四半期業績のご報告
- 09 事業別概況
- 11 連結財務諸表
- 13 2012年9月期の見通し／株主の皆様の声
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ／healthクリックの健康コラム
単元未満株式をお持ちの株主様へ



20
YEARS
CMIC
Pharmaceutical Value Creator

20 YEARS 創業20周年を迎え、さらなる成長を目指します



中村和男
代表取締役会長兼社長/CEO

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は本年3月に創業20周年を迎えることができました。当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する独自の事業モデル「PVC (Pharmaceutical Value Creator)」を展開しています。日本で初の医薬品開発支援事業 (CRO) から始まり、医薬品の製造支援事業 (CMO)、営業・マーケティング支援事業 (CSO) と製薬企業への支援範囲を拡大するとともに、臨床試験を実施する医療機関側からの医薬品開発支援 (SMO) を中心としたヘルスケア事業、さらには自社での診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬の開発 (IPD) へと発展してまいりました。当2012年9月期には売上高500億円、従業員数4,500人を超える企業となる見通しであります。

これもひとえに、創業以来当社を支えてくださった株主の皆様、ご愛顧くださったお客様のおかげであると、改めて深く感謝申し上げます。

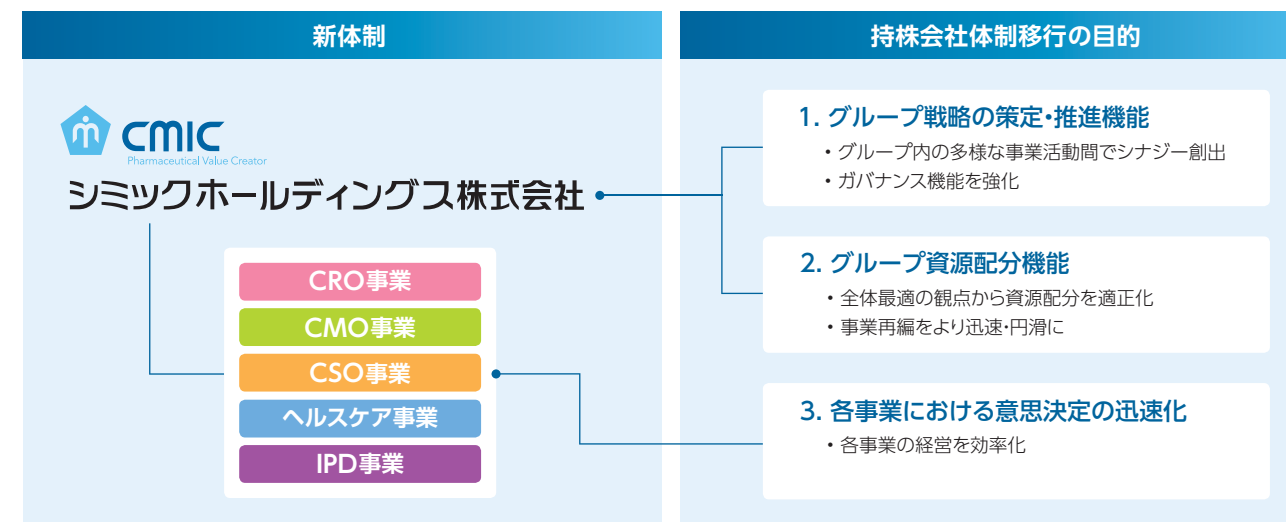
当社は本年1月4日付にて持株会社制へ移行し、シミックホールディングス株式会社として新たなスタートを切りました。今後もPVCモデルのさらなる強化を図り、事業の収益性と生産性の向上を通じて株主の皆様への還元に努めてまいります。

今後ともどうぞ変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- **PVC (Pharmaceutical Value Creator)** — 製薬企業の価値最大化を支援するシミックグループ独自のビジネスモデル
- **CRO (Contract Research Organization : 医薬品開発支援)** — 製薬企業などに対し、開発中の医薬品の評価 (臨床試験、治験とも言う) などのサービスを提供する事業
- **CMO (Contract Manufacturing Organization : 医薬品製造支援)** — 製薬企業などから医薬品などの製造および分析化学サービスに係る業務を受託する事業
- **CSO (Contract Sales Organization : 医薬品営業支援)** — 製薬企業などに対し、MR (医薬品情報担当者) 派遣など医薬品の営業・マーケティングを支援する事業
- **SMO (Site Management Organization : 治験施設支援)** — 医療機関で臨床試験参加者 (被験者) のケアや試験参加への同意取得補助など、治験実施をサポートする業務などを受託する事業
- **IPD (Intellectual Property Development : 知的財産開発)** — 診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬 (希少疾病用医薬品、オーファンドラッグとも言う) をシミックグループが自社で開発する事業

シミックグループは新たな経営体制を整えました

当社は本年1月4日付にて持株会社へと移行し、同時に社名を「シミックホールディングス株式会社」に変更しました。持株会社体制に移行することにより、以下の3つの目的を達成し、5つの事業より成る当社のビジネスモデルをより明確化するとともに、グループ全体としての新たな経営体制を確立することを目指します。



「シミックホールディングス株式会社」への商号変更に併せて、当社のホームページのURLが変更になりました。シミックグループに関する最新の情報は、こちらをご覧ください。

<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

シミックホールディングス 検索

「IR情報」ページで最新のプレスリリース、決算資料などが確認できます。

「IRメール配信サービス」にご登録いただくと最新のリリース情報がメールで届きます。

20 YEARS シミックグループ 20年のあゆみ

Communication

当社の事業をより多くの方にお伝えするため、国内外で個人・機関投資家向け説明会を開催しています。



海外での機関投資家向け説明会の模様



国内での個人投資家向け説明会の模様

1992

- 日本初の医薬品開発支援 (CRO) 企業として創業 **CRO**



マンションの一室、会議机とパソコン一台からスタート

1992
3人でスタート

Metamorphosis

当社は国内外の学会や業界イベントに出展し、シミックグループの持つ5つの異なる事業をお見せしています。



海外での医薬品研究開発イベントに毎年出展 (CRO)



国内での医薬品製造技術イベントに毎年出展 (CMO)

社員数 1995
100人
売上高 1997
10億円突破

1996

- 日本初の治験施設支援 (SMO) 事業を開始 **ヘルスケア**
- 韓国初のCROとなる合併会社を設立 **CRO**

2000

- 医薬品営業支援 (CSO) 事業を開始 **CSO**
- 知的財産開発 (IPD) 事業を開始 **IPD**

社員数 2001
500人
売上高 2002
50億円突破

2001

- 中国に駐在員事務所を開設 **CRO**

2002

- JASDAQ市場に上場

Innovation

当社は時代を先取りし、ビジネスを創造するベンチャースピリットを大切に行っています。



2010年 企業家賞を受賞

社員数 2005
1,000人
売上高 2004
100億円突破

2005

- 医薬品製造支援 (CMO) 事業を開始 **CMO**
- 東京証券取引所 市場第一部指定



東証一部指定通知書贈呈式

2008

- サイトサポート・インスティテュート (株)を子会社化 **ヘルスケア**

2010

- 自社開発の体外診断用医薬品 [レナプロ®L-FABP]の製造販売承認を取得 **IPD**



腎機能低下を早期診断できるとして期待されるバイオマーカー

2011

- (株)応用医学研究所を完全子会社化 **CMO**

Challenge

これまでの20年間の皆様からのご支援に感謝し、決意も新たにさらなる成長を目指します。



2012年5月22日 創業20周年感謝の会

2012

- 会社分割により持株会社体制に移行
- 自社開発の希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ)を承認申請 **IPD**

※シミック(CMIC)社名の由来: Current, Medical, Information, Center

その頃、医薬品業界では…

1997年、改正薬事法施行・新GCP導入

1997年の改正薬事法施行で、臨床試験の基準が欧米並みに厳格になりました。また、新GCPの導入により臨床試験業務を専門に行う医薬品開発受託機関の法的な位置付けが明確になりました。

※新GCP: 医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令

2005年、改正薬事法施行

2005年の改正薬事法施行で、製薬企業による医薬品の製造の全面委託が可能になりました。

大型医薬品の特許切れ

2010年前後での大型医薬品の特許切れや、他業種からの医薬品業界参入などにより、製薬企業のビジネスモデルは転換しつつあります。

さらなる進化への一歩を踏み出しました

CMO サービス拡大

治験薬製造施設を取得し、
治験薬サービス開始

本年3月30日、シミックCMO(株)が第一三共(株)より治験薬の製造施設などを譲り受け、治験薬サービスの営業を開始しました。

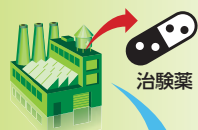
当社のCMO事業においては、国内外4つの拠点でほぼ全ての剤形の製品が受託可能です。今回、治験薬製造施設を譲り受けたことにより、さらに治験薬の固形製剤および包装サービスが提供できるようになりました。

これにより、CMO事業では製剤処方設計支援を含む治験薬製造から商業生産までのサービスや、CRO事業と連携した治験薬の包装からデリバリーまでのワンパッケージサービスなど、さらに幅広いサービスを提供できるようになりました。

CMO

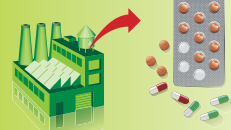
シームレスな製造による
サービス拡大

治験薬製造



治験薬

商業生産



CRO

事業間のシナジーを活かした
ワンパッケージサービス

臨床試験
(治験)治験施設へ
デリバリー

IPD 社会貢献

オーファンドラッグ2剤を
国内で承認申請

本年2月から3月にかけて、オーファンドラッグである「フェニル酪酸ナトリウム」および「ヒトヘミン」の国内での製造販売承認申請を行いました。

これらの薬は、治療上の必要性が高い医薬品にもかかわらず、研究開発に対する投資回収が困難であると考えられてきたため、製薬企業などによる開発が進まない状況にありました。患者の方々は今現在、欧米から個人輸入して治療に対応しており、早期の承認申請が望まれていました。



オーファンドラッグ

IPD 新規ビジネスモデル

オーファンドラッグの
流通販売体制、本格始動

本年5月に医薬品卸大手の(株)メディパルホールディングスとの合併会社「(株)オーファンパシフィック」を設立しました。

この会社は、オーファンドラッグを中心とした医薬品などの開発、製造、販売を新たなビジネスと捉え、当社およびメディパルの保有する機能を持ち寄った効率的なビジネスモデルの下、患者の方々に

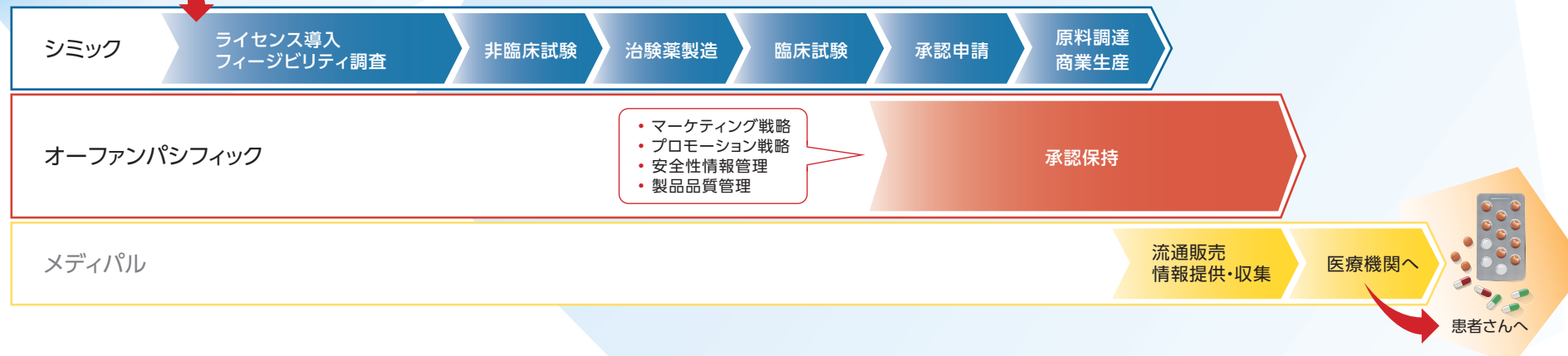
PVCって何？

20年のあゆみコラム

シミックグループが独自のビジネスモデルとして掲げている「PVC」って何だろう？と思われることはありませんか？横文字の多い業界でまた海外から輸入された概念かと思いきや、「製薬企業(=Pharmaceutical)の付加価値(=Value)を創造する(=Create)」という意味のCEO中村和男の造語なのです。製薬企業の価値、すなわち医薬品を開発(Research)し、製造(Manufacture)し、営業(Sales)する。これらの価値の向上に貢献する企業として、シミックグループは医薬品開発支援(CRO)、医薬品製造支援(CMO)、医薬品販売支援(CSO)の各分野において専門性の高いサービスを提供したい、この思いがPVCに込められています。

お薬を安定的にお届けし、お薬に関する情報を提供・収集します。

これにより、当社で開発・承認申請中のオーファンドラッグについても、速やかかつ安定的に供給できる体制が整いました。

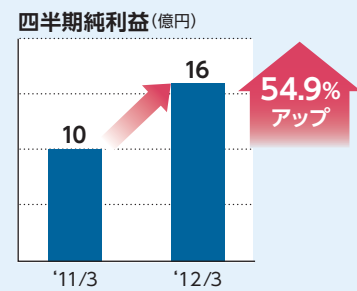
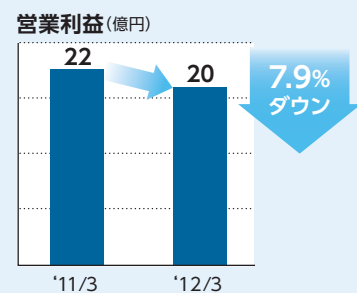
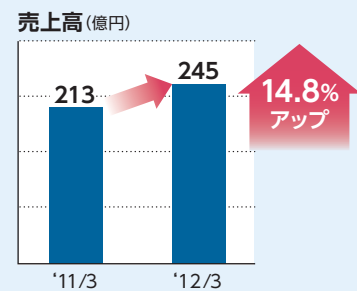


※オーファンドラッグ：希少疾病用医薬品とも言う。対象患者が5万人未満の稀な疾病に用いられる医薬品。

売上を伸ばしつつ、事業拡大への布石を打ちました

当期上半期においては、CROおよびCSO事業において2桁の伸びとなり、CMO事業において当期より自社調達に切り替えた原材料費相当額が含まれたことなどにより、連結売上高は24,500百万円(前年同期比14.8%増)となりました。一方、ヘルスケア事業において原価率が上昇し、IPD事業において研究開発費が増加したことなどにより、営業利益は2,039百万円(同7.9%減)となりました。四半期純利益は、CRO事業の子会社2社の合併によって税金費用が減少することなどにより、1,608百万円(同54.9%増)となりました。

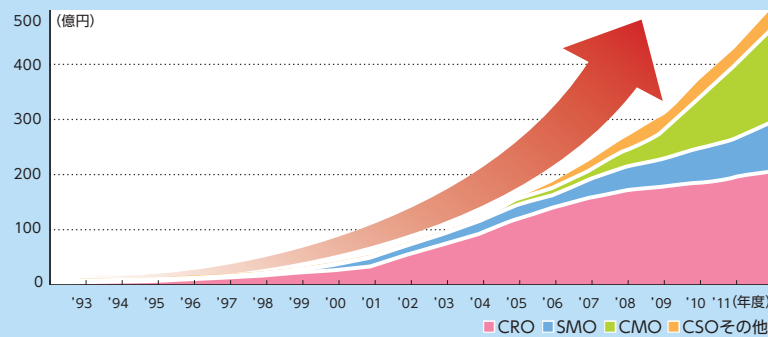
P13 ▶ 2012年9月期の見通し



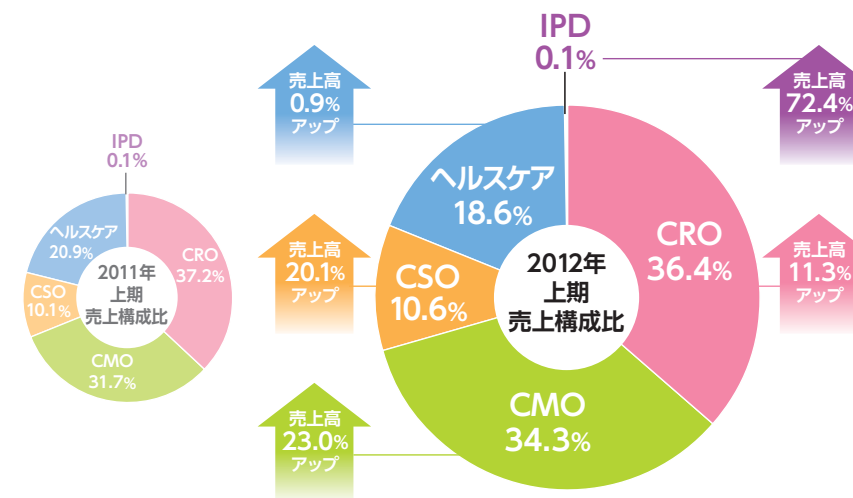
増収増益を続けています

20年のあゆみコラム

CRO事業の立ち上げは日本初ということもあり、多くの苦労がありました。それでも、12年掛けて売上高100億円を達成した後は、その経験より蓄積されたノウハウを活かし、CSO事業、CMO事業と売上をより速くより順調に伸ばしてきました。直近4年の連結売上高は250億円から500億円へと倍増する見込みです。



競争力の一層の強化に努めました



当期上半期において、シミックグループは経営資源の効率的な活用のための体制を整えるとともに、既存事業を着実に進捗・進展させながら、受託機会の拡大に向けた投資や提携にも取り組みました。

経営資源の効率的な活用のための体制整備

本年1月4日付で持株会社制に移行し、グループの経営機能の強化などを目的として新たな経営体制を確立しました。また、同3月にはCRO事業を行う子会社2社を合併し、同5月にはSMO業務を行う子会社の本店をグループ本拠地に転移するなど、経営効率向上に努めています。

既存事業の着実な進捗・進展

CRO事業においては、子会社の人員の集約や新規採用によって受託体制を強化し、受注の拡大に対応しました。また、本年2月には「フェニル酪酸ナトリウム」、同3月には「ヒトヘミン」について、オーファンドラッグとして承認申請を行うなど、IPD事業でも着実な進展がありました。

受託機会の拡大に向けた投資・提携

本年3月には治験薬製造施設などを取得し、同5月にはオーファンドラッグを患者の方々に安定的にお届けする新たな仕組みとして、医薬品卸大手のとの合併会社を設立するなど、今後の事業拡大に向けさまざまな取り組みを進めています。

2012年9月期トピックス

2011年
10月 **P5** トピックス
株式会社パルホールディングスとの合併会社設立に関する基本合意締結

2012年
1月
持株会社制へ移行、「シミックホールディングス株式会社」へ商号変更

2月～3月 **IPD** **P5** トピックス
オーファンドラッグ「フェニル酪酸ナトリウム」および「ヒトヘミン」を国内で承認申請

3月 **CRO**
シミック(株)とシミックメディカルリサーチ(株)が合併

3月 **CMO** **P5** トピックス
治験薬製造施設などの取得完了

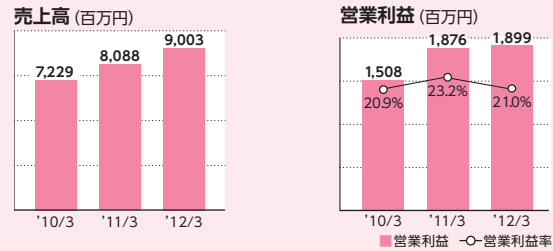
CRO (医薬品開発支援) 事業

主に製薬企業に対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

売上高 モニタリング、データマネジメント業務において既存・新規案件ともに順調に進捗し、前年同期を上回りました。

営業利益 のれん償却費、非臨床業務の営業損失をモニタリング、データマネジメント業務で補い、前年同期並みとなりました。

新体制 子会社2社を合併し、事業拡大のための体制強化を図りました。



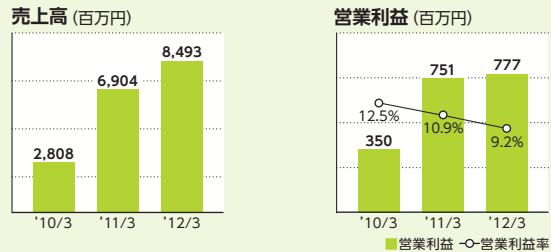
CMO (医薬品製造支援) 事業

主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業

売上高 シミックCMO富山(株)での特定品目減少などにより、当期より自社調達に切り替えた原材料費を除いた売上高は前年同期並みとなりました。

営業利益 シミックCMO(株)が堅調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。

新機能 新たに治験薬製造施設などを取得し、治験薬サービスを開始しました。



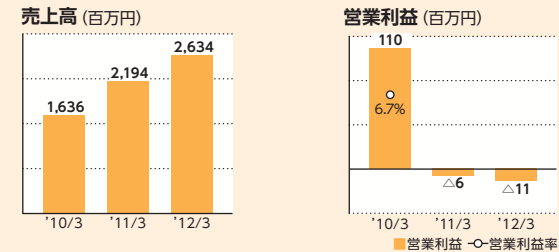
CSO (医薬品営業支援) 事業

主に医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

売上高 MR* 派遣業務の受注が順調に増加し、前年同期に比べ大幅に増加しました。

営業損失 MR派遣業務でのプロジェクトの開始遅れやメディカルコミュニケーション業務(販促資材企画・制作など)の利益減少により、営業損失となりました。

*MR (Medical Representative : 医薬品情報担当者)
—販売中の医薬品の効能・効果・副作用情報などの適正使用情報の提供・収集を行う

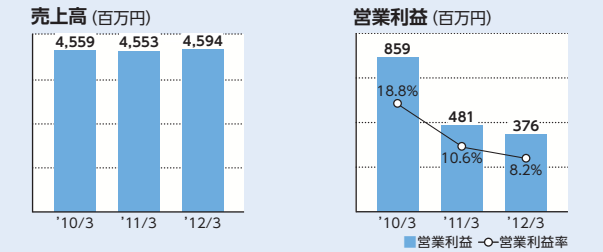


ヘルスケア事業

医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

売上高 SMO業務が高水準の受注残を維持し、前年同期並みとなりました。

営業利益 SMO業務においてプロジェクトの進捗遅れなどによる原価率の上昇により、前年同期を下回りました。



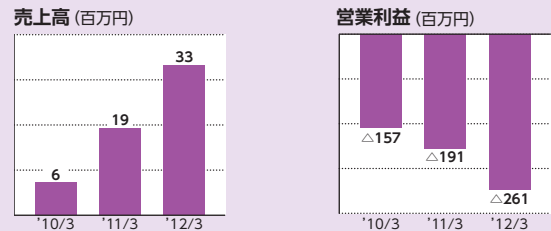
IPD (知的財産開発) 事業

自社にて知的財産を開発する業務

売上高 体外診断用医薬品「レナプロ®L-FABPテスト」の学術プロモーション活動の推進などにより、前年同期を上回りました。

営業損失 オーファンドラッグ3剤の研究開発費などにより、引き続き営業損失を計上しています。

新展開 「フェニル酪酸ナトリウム」「ヒトヘミン」の2剤をオーファンドラッグとして承認申請しました。



将来の夢を力を合わせて叶えます

20年のあゆみコラム

創業より20年、5つの事業それぞれがほぼ自立するまでになりました。でも、シミックグループの試みはまだ始まったばかりです。これらの事業がつながり合い、さらなる価値を生み出すことによって、PVCモデルは真の強みを発揮する、という将来像がもうすぐそこまで見えてきています。これらの事業の組み合わせは一体何通りあるのか…？まずは治験薬サービスから具現化していきます！



*持株会社制への移行に伴い、当社(持株会社)にかかる全社費用を各事業に配分しない方法に変更しています。前年同期の情報は、当該変更後の算定方法に基づき作成しています。

四半期 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前期 2011年9月30日現在	当第2四半期 2012年3月31日現在	増減額
資産の部			
流動資産	22,444	24,619	2,175
固定資産	16,937	17,677	740
有形固定資産	11,067	12,008	941
無形固定資産	2,745	2,453	△ 292
投資その他の資産	3,124	3,215	91
資産合計	39,381	42,296	2,915
負債の部			
流動負債	12,839	14,645	1,806
固定負債	9,633	9,337	△ 296
負債合計	22,472	23,983	1,511
純資産の部			
株主資本	17,164	18,463	1,299
その他の包括利益累計額	△ 307	△ 201	106
少数株主持分	51	50	△ 1
純資産合計	16,908	18,313	1,405
負債純資産合計	39,381	42,296	2,915

ポイント 1 資産合計

主に原材料など棚卸資産の増加(+20億円) および治験薬製造施設など有形固定資産の増加(+9億円) によります。

ポイント 2 負債合計

主に短期借入金の増加(+15億円) によります。

ポイント 3 純資産合計

主に利益剰余金の増加(+13億円) によります。

四半期 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 2010年10月1日から 2011年3月31日まで	当第2四半期 2011年10月1日から 2012年3月31日まで	増減額
売上高	21,334	24,500	3,166
売上原価	16,143	18,786	2,643
売上総利益	5,191	5,714	523
販売費及び一般管理費	2,976	3,675	699
営業利益	2,214	2,039	△ 175
営業外収益	157	106	△ 51
営業外費用	135	130	△ 5
経常利益	2,235	2,014	△ 221
特別利益	8	3	△ 5
特別損失	178	10	△ 168
税金等調整前当期純利益	2,065	2,007	△ 58
法人税、住民税及び事業税	1,232	554	△ 678
法人税等調整額	△ 214	△ 150	64
少数株主利益	9	△ 4	△ 13
四半期純利益	1,038	1,608	570

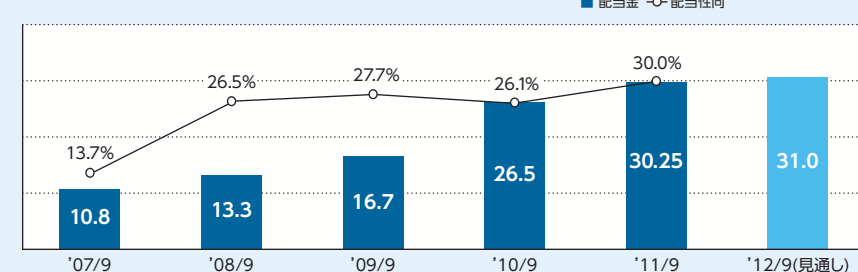
ポイント 4 売上高

シミックCMO(株)にて今期より自社調達に切り替えた原材料費相当額(+20億円) が計上されています。

ポイント 5 四半期純利益

連結子会社合併に伴う繰越欠損金控除などにより税金費用が減少(△4億円) しました。

配当金(単位:円)・配当性向(%)

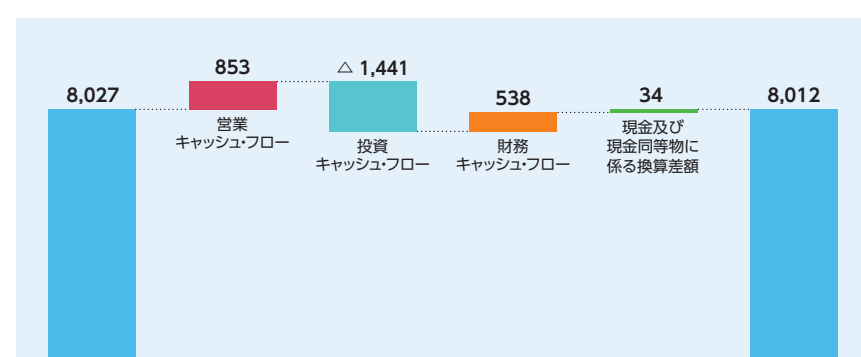


株主還元について

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つとして位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。当第2四半期は中間配当金を15.5円とし、年間配当金は前期比0.75円増の31円、1株当たり配当金の5期連続の増配を目指します。

※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。上記のグラフおよび文中では当該株式分割に伴う影響を加味し適及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

四半期 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



ポイント 6 純利益や減価償却費などにより

営業C/Fは8億円の収入となる一方、シミックCMO(株)における治験薬製造施設などの取得などにより投資C/Fは14億円の支出となり、現金及び現金同等物は前期末並となりました。

期首残高(2011年10月1日)

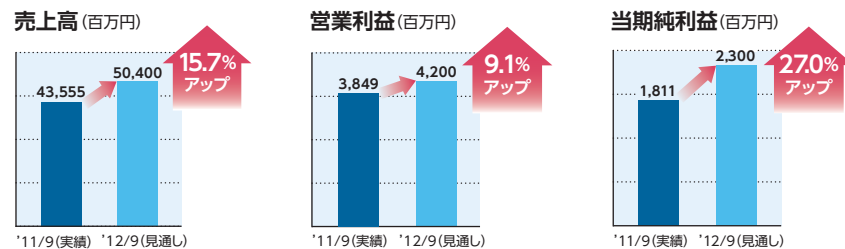
四半期末残高(2012年3月31日)

2012年9月期の見通し

当期中半期では、CRO事業の進捗が売上高・利益ともに当初計画を上回る一方、ヘルスケア事業およびCSO事業ではプロジェクト進捗の遅れが発生し、下半期でもこの傾向が一部継続すると想定されます。

また、CSO事業においてメディカルコミュニケーション業務を行うエムディエス株式会社が本年7月2日付で持分法適用関連会社となることから、CSO事業の売上が当初計画より減少する見込みです。当期純利益についてはCRO事業子会社2社の合併に伴う税金費用の減少により、当初計画より増加する見通しとなりました。

当レポートに記載されている業績予想並びに将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。



	'11/9 (実績)	'12/9 (見通し)	変化率
CRO事業	16,727	18,900	13.0% アップ
CMO事業	13,580	17,300	27.4% アップ
CSO事業	4,759	5,300	11.4% アップ
ヘルスケア事業	9,268	9,500	2.5% アップ
IPD事業	33	70	112.1% アップ
内部取引消去	△814	△670	
合計	43,555	50,400	15.7% アップ

*CMO事業の見通しには製造委託契約の一部変更に伴う原材料費相当の売上36億円が含まれます。

株主の皆様の声

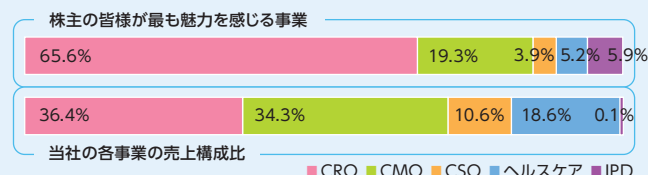
2011年9月期シミックレポートでのアンケート調査において、多くの株主の皆様より貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。ここにその結果の一部を掲載いたします。

株主様からのご意見・ご質問

- 「一層の発展、企業価値向上に向け頑張ってください」
- 「IPD事業の成長を期待します」
- 「一般投資家への知名度向上施策を望みます」

上記のようなご意見・激励を多数いただき、ありがとうございました。今後も事業のさらなる収益性と生産性の向上を目指して邁進してまいります。

Q 当社のどの事業に最も魅力・将来性を感じますか？



6割以上が当社のコア事業であるCRO事業に最も魅力・将来性を感じ、さらに各事業の成長に伴い、CRO以外の事業に対する関心も高まりつつあることが伺えます。今後も5つの事業それぞれの魅力をご理解いただけるよう努めてまいります。

Q 今後どのようなIR活動を予定していますか？

当社では年に2回、説明会を開催しております。開催の予定は随時ホームページ (<http://www.cmic-holdings.co.jp>) にてお知らせいたします。また、説明会の模様を後日動画配信いたします。

株式の状況

2012年3月31日現在

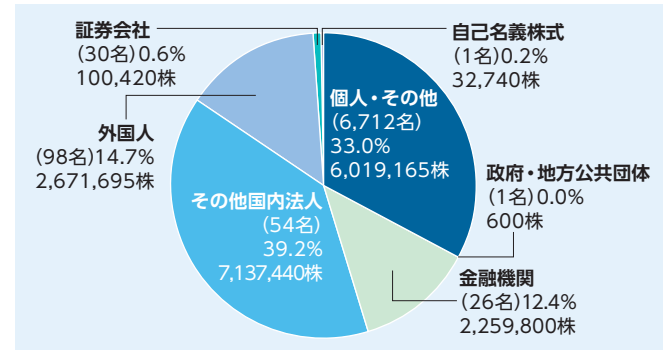
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,221,860株
株主数	6,922名

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	6,368,200	34.94
中村和男	1,909,720	10.48
TAIYO PEARL FUND, L.P.	1,166,000	6.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,044,800	5.73
株式会社キースジャパン	719,440	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	477,100	2.61
シミックホールディングス従業員持株会	359,713	1.97
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	288,100	1.58
中村圭子	148,600	0.81
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	142,350	0.78

(注)持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



会社概要

2012年3月31日現在

商号	シミックホールディングス株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	4,257名(連結)
グループ会社(連結子会社)	シミック(株) (株)シミックバイオリサーチセンター CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation (株)シミックエムピーエスエス エムディエス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)シミックBS
持分法適用会社	GCP CMIC Clinplus Co., Ltd.

役員 (2012年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男
代表取締役	中村宣雄 市川邦英 中村圭子
取締役	清水政男 佐野 極 望月 渉 松原久雄
取締役(社外)	原 護 高橋俊雄
常勤監査役	高本哲義 安田利正
監査役(社外)	酒井 繁 種房俊二

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(http://www.cmic-holdings.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告 をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して 行います。

当社は2011年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を実施するとともに、単元株式数を10株から100株に変更しております。

単元未満(1株から99株) 株式をお持ちの株主様へ

買取または買増をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元株式に整理することができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

- ・証券会社などの口座に記録された株式分：口座開設の証券会社などへ
- ・特別口座に記録された株式分：上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



シミツクホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077
<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

healthクリックの健康コラム

夏の定番料理に薬味が活躍!

夏はそうめんなどの冷たくてあっさりした食事に偏りがちですが、添える薬味を工夫すればおいしさが増すだけでなく夏を乗り切るスタミナをつけることも可能です。わさびで食中毒予防、みょうがで食欲増進、葉ネギで疲労回復…など、目的によってどの薬味を選ぶのがよいのかをご紹介します。

マメ知識



目が細かいおろしで
茎の方から練る



脂っこさを和らげ
風味をよくする



万能ネギ、岩槻ネギなど
種類も豊富



この続きはhealthクリックのサイトで **薬味** を検索

▶「夏の不調もスッキリ!お役立ち薬味カタログ」をご覧ください

healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご活用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ → <http://www.health.ne.jp>